



生誕
130年

彫刻家 高村光太郎展

6月29日[土]—8月18日[日]

千葉市美術館

開館時間：10時—18時（金・土曜日は20時まで）入場受付は閉館の30分前まで

休館日：第一月曜日（7月1日、8月5日）

観覧料：一般1000円（800円） 大学生700円（560円）

※小・中・高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

※（ ）内は前売り、団体20名以上、および市内にお住まいの65歳以上の方の料金

※前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ（6月16日まで）、

ローソンチケット[Lコード：38378]、

セブンイレブン[セブンコード：023-178]および、

千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口

（8月18日まで）にて販売

主催：千葉市美術館／NHK プロモーション 後援：NHK 千葉放送局

企画協力：NHK ブラネット中部 協力：高村光太郎連翹忌運営委員会 監修：高村 規

生誕130年
彫刻家・高村光太郎展



高村光太郎《手》(1918 個人蔵)



高村智恵子《かに》部分 (1937-38 個人蔵)



高村智恵子《くだものかご》部分 (1937-38 個人蔵)



高村光太郎《薄命児男子頭部》(1905 個人蔵)



高村光太郎《裸婦坐像》(1917 個人蔵)



高村光太郎《割腹》(1924 個人蔵)

高村光太郎(1883-1956)は、江戸末期から明治期に活躍した木彫家・高村光雲(1852-1934)の長男として東京・下谷に生まれ、幼い頃より後継者としての修練を与えられました。父から江戸時代そのままの指導方法によって木彫の基礎を学んだ光太郎は東京美術学校で木彫の他に塑造を学び、卒業後アメリカそしてフランスに留学します。

帰国後の光太郎の活動は、彫刻よりも文筆活動によって広く知られるようになります。日本最初のポスト印象派宣言とも、あるいはフォーヴィスムの先駆とも評される『緑色の太陽』(1910)に代表される評論、『道程』(1914)、『智恵子抄』(1941)などの詩業、そして『ロダンの言葉』(1916)といった翻訳は、芸術家である彼の存在を印象付けました。

その一方で光太郎は、彫刻の制作とその発表については慎重であり続けました。残念なことに1945年の空襲によって彼のアトリエは被災し、多くの彫刻作品がうしなわれ、彫刻家としてのあゆみは全体像が見えにくいものとなってしまいました。そして、疎開による環境の変化は、彫刻を制作する機会の妨げとなりました。しかし彫刻家の歿後、戦災を免れた作品によって直ちに遺作展が開催され、今日に至るまで数多くの展覧会で彼の彫刻は近代日本を代表する作品として取り上げられています。

生誕130年の節目を迎えて開催される今回の展覧会では、光太郎の原点ともいえる木彫作品をはじめ、彼が参照したオーギュスト・ロダン(1840-1917)や同時代の荻原守衛(1879-1910)、佐藤朝山(1888-1963)などによる作品と、妻・智恵子(1886-1938)が制作した紙絵をあわせて展示します。本展が光太郎の彫刻作品を見直すきっかけになるとともに、今日活発化している近代日本彫刻をめぐる研究に対する反省の機会となることを願います。本展は光太郎の友人たちが住み、智恵子が過ごした房総の地で開催される、ひさしぶりの展覧会です。

関連イベント

○記念講演会
「ひとすじの道—光太郎研究を回顧して—」
7月7日(日)14:00より(30分前開場)11階講堂にて
講師：北川太一(文芸評論家 高村光太郎記念会事務局長)
聞き手：小山弘明(高村光太郎連想忌運営委員会代表)
定員：150名 聴講無料
往復はがきによる事前申込制/締切：6月26日(水)必着

○ファミリー・プログラム「はさみで描こう」
きれいな色紙を使って夏の絵をつくります。
7月28日(日)13:30~16:00 11階講堂にて
対象：小学1~3年生の子どもとその保護者10組20人
参加費：500円/組
往復はがきによる事前申込制/締切：7月16日(火)必着

【申込方法】
往復はがきにて郵便番号、住所、電話番号、氏名、人数(2名までお申込み可)を明記の上、下記までお申し込み下さい。「ファミリー・プログラム」は、2人分の氏名、子どもの学年、当日連絡可能な電話番号を明記してください。(いずれも1人1通まで、応募多数の場合は抽選となります。)
〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
千葉市美術館 企画係

○市民美術講座
「光太郎・そのあゆみ」
7月20日(土)14:00より11階講堂にて
「光太郎・その時代」
8月10日(土)14:00より11階講堂にて
講師：薬科英也(当館学芸係長)
先着150名 聴講無料

○ギャラリートーク
担当学芸員による：7月3日(水)14:00より
ボランティアスタッフによる：会期中の毎週水曜日(7月3日を除く)
*水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。

○「中学生のためのギャラリートーク'13」
子どもだけの来館と鑑賞をサポートします。受付順に随時グループを組み、ボランティアリーダーと「高村光太郎展」を鑑賞します。1人でもグループでも参加可。夏休みの宿題(展覧会鑑賞)にも対応できます。所要時間30~40分程度。参加希望の方は直接会場へお越し下さい。
7月26日(金)、27日(土)
10:00~15:00随時受付 展示室にて
定員：各日30名程度 参加無料

*講演会やイベントは予告無く変更される場合がございます。おそれいりますが当美術館ホームページをご確認ください。

【交通案内】
◎JR千葉駅東口より
徒歩約15分 | バスのりば⑦より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分 | 千葉都市モノレール県庁前方面行「葎川公園駅」下車徒歩約5分
◎京成千葉中央駅東口より
徒歩約10分
◎東京方面から車では
京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、
貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く
◎千葉市中央区役所と同じ建物です。
◎地下に、区役所と共用の機械式駐車場がありますが混雑時はご不便をおかけすることもありますので、公共交通機関でのご来館をお願いします。



千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
TEL 043-221-2311 (代表) FAX 043-221-2316
http://www.ccma-net.jp



次回展予告 | 所蔵作品展「琳派・若冲と花鳥風月」8月27日(火)~9月23日(月・祝)

【同時開催】所蔵作品展「高村光太郎の周辺」
*「彫刻家 高村光太郎展」をご観覧の方は無料